



オンライン英会話の「レアジョブ」子どもの英語学習に関する意識調査

自民党、参議院選挙公約決定！世界で勝てる人材育成を目的に英語教育の抜本改革

小学生から高校生の子どもを持ち、子どもの大学受験を検討している保護者に調査！

- 将来、子どもがグローバルに活躍してほしいと思う保護者、83.8%。
- TOEFL 等の外部試験を大学入試に導入することについて、「賛成派」39.5%、「反対派」22.1%。
- 英語を「話す」技能が大学入試に導入された際に、子どもの英語学習に不安を感じる保護者は 79.9%。不安の理由上位は「学校で教える英語教育のレベル」や英会話学習にかかる「費用」。

オンライン英会話「レアジョブ」を運営する株式会社レアジョブ(住所:東京都渋谷区、代表取締役社長:加藤智久 以下、レアジョブ)は、子どもの英語学習に関する意識調査を小学生から高校生の子ども持ち、大学受験をさせることを検討している保護者 443 名を対象に 2013 年 6 月 12 日～16 日の間に実施しました。

※調査概要につきましては P.3 に記載しております。

＜調査結果＞

- 将来、子どもがグローバルに活躍する人材になってほしいと思う保護者は 83.8%。

「自分の子どもがグローバルに活躍する人材になってほしいと思いますか?」と質問したところ、「強く思う」「どちらかといえば思う」と回答した方が、83.8%という高い数値となりました。(グラフ 1)

昨今の日本における、世界のビジネスシーンで活躍する人材への注目度やグローバル人材育成の必要性の高まりが、本結果に強く表れているとみることができます。

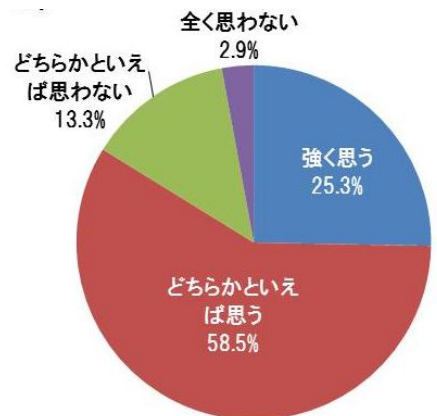
- 大学入試に TOEFL 等の外部試験を活用することについて、「賛成派」が 39.5%、「反対派」が 22.1%、「どちらでもない派」が 38.4%。

グローバル人材の育成を目的とした、大学入試への TOEFL 等の外部試験の導入※について質問したところ、39.5%の方が「賛成」と回答しました。(グラフ 2)

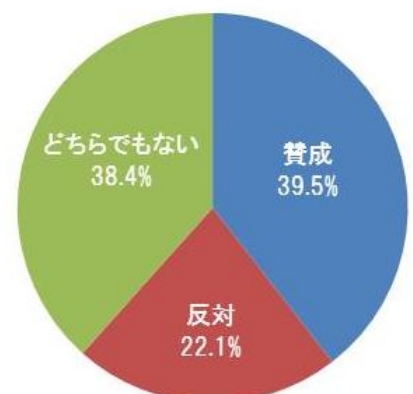
また、賛成、反対の理由についても自由回答で質問したところ「今後は、英語でのコミュニケーション能力がますます必要になると思う。」「現在の社会で英語は必須科目だと思う。また、文法のみでなく会話は特に重要。」といった賛成意見がある一方で、「グローバル化も大切かも知れないが、全ての学生に世界基準の英語(英会話)レベルが、必要だとは思えない。」「親の負担が大きすぎる。金銭面で厳しい。」といった反対意見が見受けられました。

※自民党が 6 月 20 日に決定した「J-ファイル 2013 総合政策集」にて、大学入試への TOEFL 等の外部試験の一層の活用促進について記載されています。

グラフ 1:あなたは自分の子どもがグローバルに活躍する人材になってほしいと思いますか? (n=443)



グラフ 2:あなたは現在、自民党が夏の参議院選挙の公約として検討している、「国内全ての大学入学試験に TOEFL 等の外部試験の導入」について、賛成ですか、反対ですか? (n=443)





■大学入試において、「話す」技能が問われるようになった場合、子どもの英語学習に不安を感じる保護者が 79.9%。

「今後、もし話す技能が国内全ての大学入学試験において必至となったら、あなたは子どもの英語学習に不安を感じますか？」という質問に対しては、79.9%の方が不安と感じていることが分かりました。(グラフ 3)

全体の約 8 割の保護者が自分の子どもがグローバルに活躍してほしいと期待しているのと同時に、グローバルに活躍するためのスキルとして必要な英語力(話す力)を子どもに身につけさせることに、不安を感じているという傾向が強くみられます。

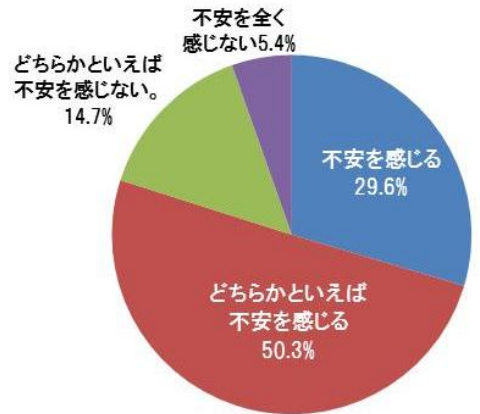
また、不安を感じる理由についても質問したところ、「現在の学校教育だけでは、話す技能レベルを向上させるのに不十分だと思う。」(67.8%)、「英会話に特化した勉強等、これまで以上に英語学習にかかる費用が高くなりそう。」(16.7%)が理由の上位としてあがりました。(グラフ 4)。

■現在、子どもに行っている英語教育について、「英会話スクールに通わせる」(19.6%)が上位。また、子どもの英語教育に毎月かけている費用のうち「0 円以上 3,000 円未満」(29.6%)が最も多い。

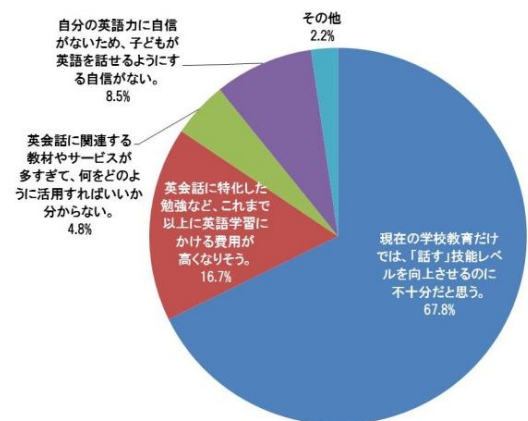
「現在、子どもの英語教育について行っていること」について質問にしたところ、「特に行っていない」(56.7%)に次いで、「英会話スクールに通わせる」(19.6%)がランクインしました。(グラフ 5)

また、「子どもの英語教育に毎月でかけている費用」については、半数以上の方が「0 円～3,000 円未満」(64.8%)と回答しました。(グラフ 6)

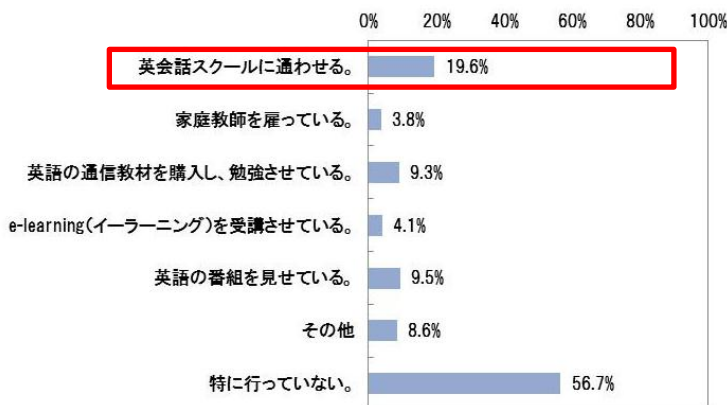
グラフ 3: 今後、もし「話す」技能が国内全ての大学入学試験において必至となったら、あなたは子どもの英語学習に不安を感じますか？ (n=443)



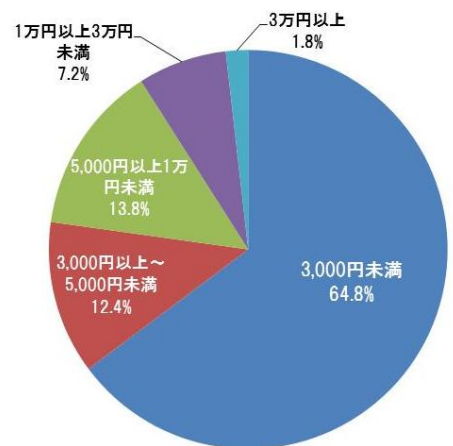
グラフ 4: あなたが不安を感じる理由について最も近いものを教えてください。(n=354)



グラフ 5: 現在、子どもの英語教育について行っていることがあれば教えてください。(n=443) 複数回答



グラフ 6: 子どもの英語教育に毎月でかけている費用を教えてください。(n=443)





レアジョブでは、本調査結果を受けて、子どもがグローバルに活躍する人材になってほしいと思う一方で、英語を話せるようになるための勉強法に不安を抱えている保護者やお子様に向けて、7月6日(土)にイベントを実施します。

本イベントでは、TOEFL等の英語能力試験に関する解説をはじめ、英語を話せるようになるための学習法等、英語学習にまつわる不安を少しでも取り除き、前向きに英会話力を伸ばす方法を学んでいただけるような内容を予定しています。

■ イベント概要

< イベントタイトル >

小学生・中学生・高校生と親御様必見！大学入試にスピーキングテストが導入されたって怖くない！
“話せる”ようになるための英語勉強講座

< 日時 > 2013年7月6日(土)11:00～12:30(受付開始 10:30)

< 場所 > 株式会社レアジョブ
東京都渋谷区桜丘町 12-10 渋谷インフォスアネックス 4F

< 参加条件 > 小学生・中学生・高校生のお子様と保護者様(お子様のみのご参加はご遠慮ください)
※レアジョブ会員でなくてもご参加いただけます。

< 内容 > ・「話す」スキルを問われる英語能力試験の解説
・話せるようになるための英語学習法紹介
・質疑応答
・オンライン英会話レッスン体験

< 参加費 > 無料

< 定員 > 20組 40名 ※先着順

< 参加者特典 > 毎日50分体験レッスン 1週間無料クーポンをプレゼント
※親子2名分をプレゼントします。既にレアジョブ会員の方には振替レッスン5回分をプレゼントします。

< 参加申し込み > 下記ページよりチケットを取得頂けます。
<http://peatix.com/event/15281> (PeaTiX)

【調査概要】

調査期間:2013年6月12日～16日

調査対象者:全国4000人の男女(20～59歳/既婚/子ども有)に実施した事前調査にて「小学生・中学生・高校生の子どもがいる」かつ「子どもの大学受験を考えている」と回答した、20歳から59歳の男女。

回答数:443名

調査手法:インターネット調査

【株式会社レアジョブについて】

設立:2007年10月 所在地:東京都渋谷区桜丘町12-10 渋谷インフォスアネックス5階

代表者:代表取締役社長 加藤 智久

URL: <http://www.rarejob.com/>

事業内容:オンライン英会話サービス事業

サービス概要:

無料のインターネット通話ソフト＝スカイプ(Skype)を使用してマンツーマンの英会話レッスンを提供しています。1レッスン(=25分)を毎日受講できて月額5,980円、他3種類の料金プランを揃えています。レッスンは早朝6時から深夜1時まで開講。講師は英語を公用語とするフィリピン人講師を採用し、気軽に利用しやすい価格で、楽しく、学習効果の高い英会話レッスンを実現しています。

【本プレスリリースに関する問合せ】

広報:大堀、田形(press@rarejob.com)

TEL: 03-6416-7125 / FAX: 03-6416-7128

以上